

戦没者などの遺族に

特別弔慰金

戦没者などの遺族に因りて、特別弔慰金を表するため、特別弔慰金へ三万円（困難）を支給する。この制度は昭和四十年から始められて、しかし、この特別弔慰金を請求する手続きをしていない。該当者の方、県下にはおおいにいます。考えられます。まだ手続きをしていない遺族は、お早目に市町村役場厚生係へ申し出て下さい。支給の対象となるおと遺族は次のとおりです。一遺族援護法（弔慰金五万円、三万円など）を受けた遺族で、昭和四十年四月一日現在、公務扶助料や遺族年金などを受ける遺族がいない場合。二遺族援護法の弔慰金を受けた遺族が、死亡している等の場合には、弔慰金を受けなかった遺族、戦没者の子、父母、祖父、母、兄弟姉妹の順に支給されます。

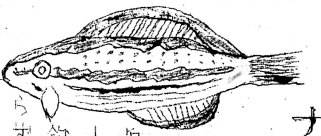
受験する方へお知らせ

種別	科目	試験	試験
普通	全二種	普通	普通
大	全二種	大	大
特	全二種	特	特
普通	全二種	普通	普通
大	全二種	大	大
特	全二種	特	特
普通	全二種	普通	普通
大	全二種	大	大
特	全二種	特	特

右は昭和四十二年七月十五日に改正になった自動車運転免許試験日割表です。八戸、弘前は学科試験のみとなります。 (佐井署、警察派出所)

アザ危し
そのアザトが
死を招く

アザは早目に
アザトは控え目



ナメ流しを

青森県からナメ流し、密漁を防止しよう。これは釣り愛好者に限り、県民の長い間の願いです。この願いにとか、わらず、昨年とどろくほどナメ流しが発生し、本年もまた津軽地方に発生してあります。



生命の根源である水、その水を運ぶ川をきれいにしよう。最近の川の汚染がひどく、これはゴミだけでなく、農薬などに入っている毒、劇物など目に見えないもので汚染され、年々魚などが減って、いよいよ、この川にナメ流しをする、不心得者が多くなっています。お互いに注意し合って、川の資源を保護し、育成し、適切に利用しよう。これは関係漁民や釣りの愛好者だけでなく、県民の言葉であり、このため、県をばじめ関係機関では年々増え、むしろ魚類は減る一方で、このまゝでは一尾の魚もいなくなってしまう。

水道メーター

取付家庭へお願い

佐井村簡易水道給水条例に
 基き本年八月より計量制を
 採用することになり営業用
 ・ 団体用・臨時用等を主体
 にメーターを設置いたしま
 した。このメーター設置家
 庭は八月より料金は基本料
 金、超過料金、メーター貸
 付料と合せて水道を使用
 した場合は基本料金とメ
 ーター貸付料のみ、水道料
 金の明記参照へを納入する
 こととなりますのでご諒承
 下さい。又メーターの検計
 は毎月二十五日まで
 の間に行い同時に料金計算
 を行い、検針のお知らせし
 により通知致しますので料
 金は当月中に納入下さるよ
 うお願い致します。尚、料
 金を納入下さる場合、普通
 帳ができるまでの間は従来
 の通帳により納入すること
 になりますので念のため申
 し添えます。

計量制使用料表

口径別	料金	検針外の場合では料金は頂戴します。
13	40	
20	50	
30	120	

用途別	基本料金	基本料金	超過料金	超過料金	備	考
団体用	16	240	1	15		
営業用	20	300	1			
一般用	8	120	1			
浴場用	200	1500	1	10		
臨時用	10	200	1	20		
観賞用	20	1000	1	70		
共用栓	7	100	1	15		

国民健康保険税

本一期分納期限は九

月三十日までです

早目に納入しましょう。

病を明るく我が家

我が郷土

村民税、県民税、固定
 資産税、国民健康保険税
 の通知書は二期まで発付
 されていきます。まだ完納
 されていな方は早目に
 納入下さるようお願い致
 します。

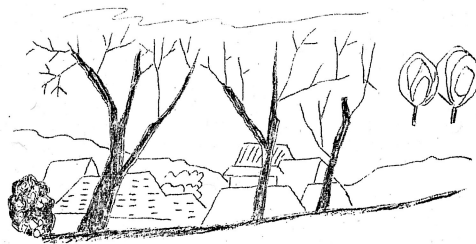
村長出張日程表（八月分）

月日	用務	用務地
八・一	水産庁 漁港計	大畑町
八・二	画懇 総会	
八・三	市町村長 研修	青森市
八・四		青森市
八・五		青森市
八・六	県町村会建設常任委員会 三浦一雄氏挨拶	青森市
八・七	海岸協会 総会	青森市
八・八	八戸三陸・下北観光協 会 総会	八戸市
八・九	弘前大学医学部 総会 助教	弘前市

佐井村職員事務分担表

係名	係長名	係員名	分担事
総務	松林書記	中村 樋口 篠好 各書記 大坂産	総合計画 山村 振興 記録 戸籍 住民基本台帳
建築管理	川畑書記		村全級の建築設計 物品の管理、整備全般
会計		大田書記	
国民衛生	岩尾書記	大田(兼)書記 中蔵 橋本 榎本 榎本 榎本	国民衛生へき地診療、歯科診療
車輜	松橋書記		車輜全般の把握 整備の外 国民年金 事務向上のバリエーション
厚生	宮川書記	奥正書記、武井 嶋記 録	国民年金 福祉 日赤 只 募 振 業 安 定 消 防 火 災
土木水道	大島書記	奥正書記、三戸産	土木水道、沿岸保全
税務	岩山書記	宮野止 各書記	賦課徴収、固定資産評価、住民課正
経済	島野書記	奥正書記	農林、漁業、配給、観光

夜と野社 医師の件々



佐井村部分林組合役員会

去る6月30日佐井村部分林組合連合会、会長渡辺幸定加盟部分林組合（では、佐井村青年研修所に於て、佐井営林署長他担当課長、係長等の出席を頼って開か

れた。当日の主な議題は次のとおりである。

1. 各単位部分林組合の要望事項処理の件。
2. 山村振興指定に伴う分収歩合2官5民の優遇措置

置に對する今後の造林計画について。

3. 次期経営等に対する地元営林署の方針の説明。他に先衛部分林の早急な処理方法について部分林連合会、地元営林署との意見の交換があり、関係機関に對し強力な陳情を行なう事を確認した。

SEPTEMBER



北郡市浦村より部分林の先

進地視察団が来村

去る7月24日、北郡市浦村より部分林経営の比較的成功している当村を視察のため来村され、地元より村

長、部分林組合連合会、営林署の首脳者が案内に当り大変好評を得て帰村された。当日の主な日程は次の通りである。

営林署入札所に於て座談会を開き、地元営林署長、材長の歓迎のあいさつ、藤原庶務課長の部分林制度とその内容について説明、川畑徳次郎、東出昇各部分林組合連合会副会長により造林者を代表して苦心談等について説明があった。座談会終了後現地視察を実施した。

大間警察管内の交通便り

年度	発生件数				計	死亡事故
	大間	佐井	凡岡浦	村計		
38	4	4	1	9	0	
39	4	4	3	11	0	
40	8	3	1	12	0	
41	6	2	6	14	0	
小計	22	13	11	46	0	
42	5	2	4	11	0	

子どもの交通事故発生状況

年度	発生件数				計	発生率
	大間	佐井	凡岡浦	村計		
38	1	0	0	1(11%)	9	
39	2	3	0	5(45%)	11	
40	4	2	1	7(58%)	12	
41	2	0	3	5(36%)	14	
小計	9	5	4	18(39%)	46	
42	4	2	1	7(64%)	11	

水害対策について

台風、集中豪雨の最も多く発生する季節となりました。災害に備えて準備して下さい。

津波危険区域

河川別	位置	危険度
小系川	河川	危険
黒岩川	本川	B
丸佐川	藤太沢	B
ヤスノ沢	碓谷	A
福浦川	福浦	B
中津川	寺の沢	A
中津川	寺の沢	B
前佐井川	本川	B

1. 予想される危険し流水
2. 対策工事完了後、橋上
3. 対策工事完了後、橋上
A. 土石流発生
B. 浸水

九月行事予定表

9月15日 敬老の日	備考 定例議会	28日	27日	26日	25日	22日	21日	20日	19日	18日	15日	14日	11日	8日	5日	2日	1日		
		結核予防事業	長後移動保健所	牛滝巡回診療	福浦移動保健所	長後巡回診療	福浦巡回診療	老人健康診査	長後巡回診療	ゴミ回集	福浦巡回診療	郷社祭典	郷社祭典	ゴミ回集	職員結核検診	佐井村公報発行	長後巡回診療	福浦巡回診療	ゴミ回集



戸籍の窓

一出生 (八月分)

長谷川 美穂子 生達ニヒ	宮沢 誠 川目八の一	田中 なみえ 福浦川目百	岡本 みゆき 大佐井六六	大石 利之 長後六	大田 一美 白佐井九〇	坂井 桂子 生達二三	細間 直美 長後一	樋口 郁子 白佐井五三	熊谷 道弘 白佐井二一	北田 勝則 糠森五〇三	池田 宏幸 福浦一六	鹿島 義幸 墨野二三	坂井 広幸 生達二六	萬谷 奈津子 福浦四九	武田 明子 白佐井六八
-----------------	---------------	-----------------	-----------------	--------------	----------------	---------------	--------------	----------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------

二婚 姻

竹本 瑠子 生達一五	宮川 博行 大佐井六六	柳田 とみ 福浦川目百	奥本 いち 大佐井四四	太田 豊彦 中道七八	田中 善作 福浦一	あやみゆき 福浦一	三死亡	神淵 類夫 白佐井	萬崎 美智子 坂柳町	藤江 節子 白佐井	大坂 優子 長後	妹裕 文子 大佐井
---------------	----------------	----------------	----------------	---------------	--------------	--------------	-----	--------------	---------------	--------------	-------------	--------------

昭和42年8月1日現在
部落別男女別人員及び世帯数調

部落名	男	女	計	世帯数
古佐井	716	718	1,434	309
大佐井	680	705	1,385	306
原田	281	262	543	101
川目	58	76	164	34
矢越	152	138	290	50
磯谷	201	208	409	69
長後	93	75	168	30
福浦	168	155	323	69
牛滝	168	132	300	58
野平	81	89	170	41
計	2,628	2,558	5,186	1,057